



令和3年4月20日

校長室から

No. 1

みなさんこんにちは、昭島市立光華小学校 校長の 鵜川 雅行（うかわ まさゆき）と申します。平成31年度（令和元年度）より、本校の校長に着任いたしました。今年度で3年目となります。どうぞよろしくお願いいたします。

最近ニュースを見ていると教育について色々なことが報道されています。いったい、どんなことが学校で行われているか疑問に思っている方も多々いると思います。そこで、ホームページを使って、学校の様々なことを分かりやすくお伝えできればと思います。

今回のテーマは **「学校教育目標って？」** です。

4月の学校便りでもお示しましたが、各学校に「学校教育目標」があります。この目標は、その学校が開校したとき、どのような学校にしたいかという目標を表したものです。もちろん、途中で変える場合もありますが、ほとんどが学校の開校当時のままです。どの学校も「知・徳・体」の3つに合わせてつくられています。「知・徳・体」とは、イギリスの哲学者・社会学者・倫理学者のハーバート・スペンサーが、『教育論』（1861年）などで、知育・徳育・体育の3育を教育の基本原則として示したものです。150年以上前に海外で主張されていた考えです。それを福沢諭吉が『西洋事情』（1872年）の中で紹介し、日本の近代学校の始まりとともに、それが普及し広まったものといわれています。知識・知性があり、他者のことを考えることができる、心も体も健やかな子供を育てたいと考えられ、今に引き継がれているのでしょう。

本校の教育目標を当てはめると、以下ようになります。

知 … 考える子 徳 … 協力する子 体 … 健康な子

なんと本校の教育目標には、それ以外に **「すすんでする子」** があります。

この経緯は、はっきり分かりませんが、とてもよい目標だと思っています。それは、**新しい学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」**を目指しています。主体的な学びは正に「すすんでする子」に当てはまります。また、**学習をしたいというエネルギーは、「どうして?」「なんでだろう?」「やってみたい!」**という疑問や好奇心から起こります。どんなことにも「すすんで取り組む」意欲のもてる子は、自分で考え、仲間と協力し、健康な心と体を育てることができると思うからです。

新学期を迎えた子供たちは、新しい目標をもち「がんばろう!」という気持ちで一杯です。全校朝会でも話しましたが「素直な気持ち」でかかわること、「変わろうとする気持ち」をもつことはとても大切です。本年度は特に、どんなことにも「すすんで取り組める」気持ちを育てていきたいと考えています。子供たちを応援してください!